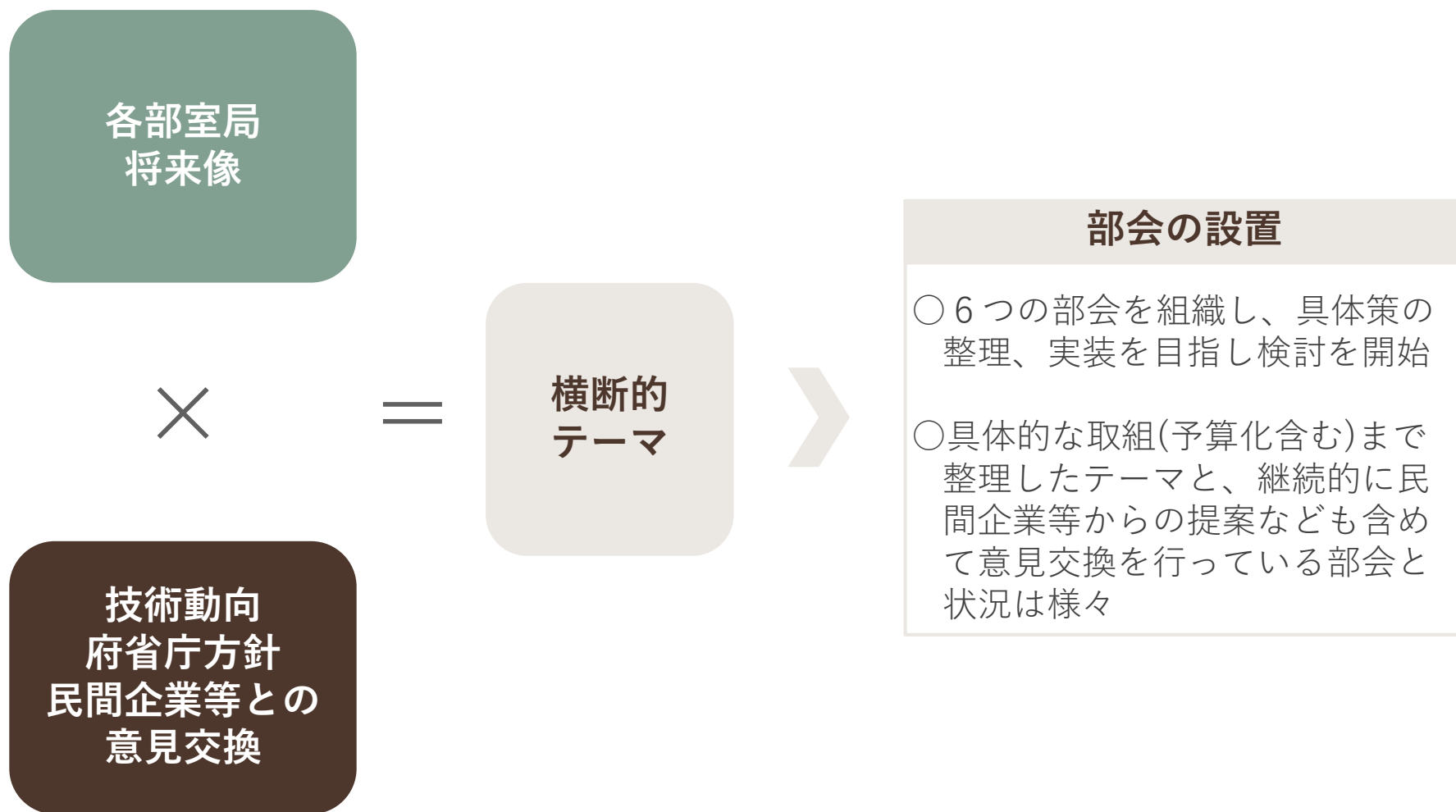


【資料2】 部会運営に関して

デジタル化推進本部事務局
(総務部 情報戦略課)



- 各部室局の将来像と技術動向や府省庁の考え方などを掛け合わせて6つの部会を設置して議論を進めてきた。
- このような議論・手法を行ってきた意図は、単独では解決できない課題、進まない取組を加速させること
- また、必要となる予算を確保するために検討熟度をあげるために実施してきた。

成果

- ・ 部室局の垣根を越えて、1つの目標・目指す姿の構築に向けて具体的かつ前向きな議論をかさねることができた。
- ・ お互いの知識なども共有することで、新しいアイデアなどを生み出すことができた。
- ・ 1つの目標・目指す姿の実現に向けてそれぞれが感じている・抱えている課題を共有しながら、共通認識を図ることができた。

反省

- ・ 部会としての最終目的が曖昧な点があった。課題に対するアイデア出しまでが役割なのか、アイデアを踏まえて実行フェーズに移行していくことも含めて、部会として担うのか否かについて部会によって認識の差があった。
- ・ 議論を開始してきた時期が夏であったことから予算化を意識した際に時間が短すぎた。
- ・ 部会として検討した内容を、本部会議でどう結論づけ、次の段階へ移行するかが曖昧な点があった。

<部会としてのゴールの明確化>

- 部会としての結論をどこまでまとめるかを明確にしたうえで議論を重ねていく。
- 当然のことではあるが、再度、この点については改めて部会毎にゴールを明確化することに留意(今後、新たに設置する部会も含む)。

<予算、国庫補助活用等を意識した議論>

- 庁内の予算要求が、情報システム導入計画書の検討を考慮して8月からスタートすることを念頭に、遅くとも10月には部会として予算整理ができる運営を行う。

<部会メンバー・構成員の職位に関して>

- 今年度の議論を振り返る中で、具体策を議論する際には担当者の意見なども踏まえた整理が必須となる。
- 今年度の部会設置においては情報戦略課にて構成案を整理してきたが、今後はテーマを踏まえて根幹部分はある程度、素案整理するもののメンバー検討については各部局・各課の手上げも含めた方法もいいのではないか。

<新部会の設置に関して>

- 更新版の将来像・ロードマップなどを踏まえて、4月当初に新たに設置が必要と思われる部会案を整理し、令和5年度第1回デジタル化推進本部会議(4月中を想定)にて提案。
- 5月から議論を開始を想定。
 - ⇒(庁外)6月：政府骨太等方針、8月：府省庁概算要求を確認することが可能となる。
 - ⇒(庁内)7月：導入計画書、9～10月：予算要求につなげていくことが可能となる。